

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	8-	6
事業名	保健福祉センター経費	
会計	款	項
一般	3	1
目	3	
施策	2	人にやさしいまち
2-1	健康に暮らすまちをつくる	
2-1-1	自らの健康づくりの推進	
主要施策	①健康づくり意識の高揚と主体的活動の促進	

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民（施設利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	健診事業や療育事業等を実施する保健福祉センターの適切な維持管理を行ない、町民の健康福祉の増進及び文化的な生活向上を図る。
事業内容	保健福祉センター事業・・・施設の保守点検及び維持管理を行い、安心して利用できるようにする。また、財政状況を考慮しながら、公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、計画的な改修を進め、施設の長寿命化を図る。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年（目標）	
	1	施設利用延べ人数	12,963	12,925	12,629	人	↑	15,000
2								
3								
4								
5								
			平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B				90,338	12,139		77,965	
財源内訳	直接事業費A			90,338	9,037		74,863	
	うち一般財源			50,557	8,334		12,943	
人件費（千円）B				0	3,102		3,102	
内訳	一般職員（人・千円）				0.47	3102	0.47	3102
	臨時職員（人・千円）				0	0	0	0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	C 対象が広すぎる
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画	—	③取組の課題	昭和54年の建設から40年が経過し、施設が老朽化していることから、改修に多大な費用が必要である。
②H30年度に実施した取り組み	令和元年度に実施する空調設備等改修工事に係る設計業務を実施しました。また、今後の改修スケジュールを個別施設計画により策定しました。	④今後の改善計画	個別施設計画をもとに財政負担を考慮しながら、計画的に施設改修を実施していく必要がある。また、現在行っている施設使用料の減免について、廃止を検討していく。